

# せん定枝の堆肥化技術

福島県果樹試験場栽培部  
平成15年度試験研究成績書

## 1 部門名

果樹ーリンゴー資源利用  
分類コード 04-01-65000000

## 2 担当者

大橋義孝・星 保宜・額田光彦

## 3 要旨

リンゴせん定枝チップを早期に堆肥化するため、尿素、鶏ふん、鶏ふん＋土をそれぞれ添加した区を設定し、腐熟化速度に及ぼす影響について検討した。

- (1) 積み込み期間の中心部温度は、鶏ふんと土を添加した区で高く推移し、この区では4mm以下の細かい枝片が最も増加していた。
- (2) 炭素率は、積み込み時に設定した30から、8ヵ月後の14前後まで徐々に低下し、各区で同程度であったが、尿素を添加した区では炭素の残存率がやや高い傾向が見られた。
- (3) 堆肥の熱水抽出液がコマツナの発芽に及ぼす影響を調査した結果、発芽率にはほとんど影響しないが、根の伸長が、尿素を添加した区、鶏ふんを添加した区で積み込み7週までは劣る傾向が見られた。また、ミミズの数は鶏ふん＋土を添加した区で最も多く、尿素を添加した区で最も少なかった。

以上のことから、腐熟化速度を早めるためには、窒素源として尿素よりも鶏ふんが適当であり、土の添加は腐熟をさらに促進すると推察された。

## 4 その他の資料等

なし